別記第七十四号の二様式（第五十五条関係）（平29法省令22・追加、令元法省令10・一部改正）

日本国政府法務省

難　民　認　定　申　請　書（再申請用） 法　務　大　臣　殿					
氏　　名	男 女			別名・通称名等	
生年月日	（年）	（月）	（日）	現在の職業	
国籍・地域（又は常居所を有していた国名）			出生地		
住居地	方　　電話番号　　携帯電話番号				
	番　　号	発行・更新年月日	有効期限	発行機関	発行・更新理由
旅　券					
在留カード／特別永住者証明書					
本邦上陸年月日	上陸港	現に有する在留資格（又は許可の種類）		在留期間満了日（又は許可の期限）	
官　　用　　欄					

（注）用紙の大きさは，日本産業規格Ａ列４番とする。

【注意事項】

以下の注意事項をよく読んだ上で質問に答えてください。

読んだ注意事項には，チェック☑をしてください。

☐　この申請書には，あなたが主張したい事情を全て書いてください。

☐　回答に当たっては，該当する欄にチェック☑をし，記入部分には，具体的かつ詳細に書いてください。（枠内に書けない場合は，別紙を提出してください。）

☐　この申請書に嘘を記載したり，嘘の資料を提出した場合は，審査上不利益を被ることがあります。

1　前回の難民認定申請後，国籍，家族構成，居住歴，学歴，職歴，本邦出入国歴，海外渡航歴及び宗教に変更はありますか。

☐　いいえ

☐　はい

→変更事項はどれですか。

☐　国籍　☐　家族構成　☐　居住歴　☐　学歴

☐　職歴　☐　本邦出入国歴　☐　海外渡航歴　☐　宗教(宗派)

→変更内容を具体的に書いてください。

2　前回は，どのような迫害事情を主張しましたか。具体的に書いてください。

3　今回は，新たに主張する迫害事情がありますか。

☐　ない

→「ない」と答えた場合，4の質問に答えた後，6以降の質問に答えてください。

☐　ある

→「ある」と答えた場合，4以降の質問に答えてください。

4　迫害を受けるおそれ以外の理由で，日本での滞在が必要な理由がありますか。

☐　ない

☐　ある

→「ある」と答えた場合，具体的に答えてください。

5　３の質問で「ある」と答えた場合，「新たな迫害事情」について，下記（１）から（６）までの質問に答えてください。

（１）「新たな迫害事情」が発生した時期は，いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（２）「新たな迫害事情」をあなたが知った時期は，いつですか。算用数字により西暦で書いてください。

（３）「新たな迫害事情」が発生した場所は，どこですか。

（４）「新たな迫害事情」を前回の手続で主張できなかったのはなぜですか。

（５）「新たな迫害事情」の内容を具体的に答えてください。

ア　迫害を受けたのは誰ですか。

□　あなた自身

□　あなたの家族・親族

□　上記以外（具体的に書いてください。）

イ　誰から迫害を受けましたか。

ウ　どのような迫害を受けたのですか。

エ　迫害を受けたのは，なぜですか。

オ　迫害と関係する本国情勢に大きな変化があった場合，それを具体的に書いてください。

（６）あなたが本国に帰国するとすれば，いかなる事態が生じますか。

ア　誰から迫害を受けるおそれがありますか。

イ　いかなる事態が生じますか。

6　今回，新たに提出する資料はありますか。

□　ない

□　ある

→「ある」と答えた場合，その資料の内容を具体的に書いてください。

7　現在の健康状態はどうですか。

□　異常なし

□　異常あり

→「異常あり」と答えた場合，具体的に書いてください。

8　難民調査官のインタビューを希望しますか。

□　希望する

□　希望しない

9　難民調査官がインタビューする場合，通訳は必要ですか。

□　いいえ

□　はい

→「はい」と答えた場合，何語を希望しますか。（　　）語

その他通訳に関して希望する事項があれば，書いてください。

以上の記載内容は，事実と相違ありません。

申請者（代理人）の署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　年　　月　　日